

記入例

児童手当・特例給付 認定請求書

提出年月日を記入してください。

		提出年月日		〇・〇・〇		※受付確認年月日		.						
請求者	①(ふりがな) 氏名 (法人名等)	〇〇 〇〇		②性別	男・女	③生年月日	明治・大正 昭和・平成	55・5・5	④職業	ア. 被用者 イ. 公務員 ウ. 被用者等でない者	⑤配偶者の有無	有・無		
	⑥住所 (法人の主たる事務所の所在地)	〒 501 - **** 羽島市〇〇町〇〇番地		電話 058 (111) 1111		⑦個人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
	1月1日時点の住所(1~5月分は前年、6~12月分は本年)	※羽島市に転入された方のみ記入してください。 1~5月分...前年1月1日時点の住所 6~12月分...本年1月1日時点の住所		⑧支払希望金融機関	名称 ×××××		支店コード(3ケタ)	支店名 ××支店		口座番号		口座名義		
配偶者等	⑨(ふりがな) 氏名	〇〇 △△		(生年月日 S56 . 6 . 6)		⑩住所(⑥と異なる場合)	※請求者と住所が異なる場合のみ記入してください。		請求者名義の口座を記入してください。					
	⑪職業	ア. 被用者 イ. 公務員 (勤務先:)		ウ. 被用者等でない者		⑫個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1月1日時点の住所(1~5月分は前年、6~12月分は本年) ※上欄と1月1日時点の住所が異なる場合のみ記入してください。 1~5月分...前年1月1日時点の住所 6~12月分...本年1月1日時点の住所					
児童	氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所	監護の有無	生計関係	※児童との関係で、該当する場合に○印	※3歳未満の児童○印	※3歳以上小学校修了前の児童○印	※小学校修了後中学校修了前の児童○印		
	〇〇 □□	子	H20 . 7 . 7	同・別	年 月	同上	有・無	同・維持	○					
〇〇 ◇◇	子	H24 . 8 . 8	同・別	年 月	〇×県〇×市〇×町〇×番地	有・無	同・維持	○						
加入している公的年金制度の種類	ア. 厚生年金保険 ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。 () 私立学校教職員共済 () 国家公務員共済 () 地方公務員等共済		イ. 国民年金 ウ. その他 ()		⑬請求者の扶養親族等及び児童の数	うち70歳以上の同一生計配偶者及び老人扶養親族の合計数	人	認定・却下	認定・却下年月日	支給開始年月	区分	手当月額		
	⑭加入している公的年金制度の種類		請求者が加入している公的年金制度で該当するものに○		⑮所得の状況	(請求者)	円	控除後の所得額	所得制限限度額	円	円	・児童手当 ・特例給付	3歳未満分 3歳以上小学校修了前分 中学生分 計 円 円 円 円	
※審査	年分所得の合計額		うち児童手当法施行令第3条第1項による控除 給与所得/公的年金等所得を有する 場合の控除額(上限100,000円) (一律控除額)		雑損控除額	円	医療費控除額	円	小規模企業共済等掛金控除額	円	障害者控除額	円	寡婦・ひとり親・勤労学生控除額	円
	請求者	円	円	80,000円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
配偶者	円	円	80,000円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	

養育している児童(18歳に達する日以後最初の3月31日までの間にある全ての子)について記入してください。

同居・別居を選択してください。
●別居のとき
→住所欄に児童の住所を記入、別途「別居監護申立書」が必要です。

「監護」とは、児童の面倒をみており、養育していることを言います。

児童が
●請求者自身の子のとき
(養子縁組している場合を含む)
→「同一」に○
●請求者自身の子以外のとき
→「維持」に○、別途「監護・生計維持申立書」が必要です。
・父母指定者
・同居父母

④⑩職業...該当するものに○
ア. 被用者...厚生年金保険に加入の方(会社員等)
イ. 公務員
ウ. 被用者等でない者...国民年金加入・年金未加入・どなたかの扶養となっている方

◎裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書(かいしよ)ではっきり書いてください。